

HPEインフラストラクチャの 状態および容量の分析

HPEクリティカルファシリティアシュアランス:
運用リスクと信頼性評価サービス



概要

HPEインフラストラクチャ状態/容量分析サービス - ファシリティ内のクリティカルなインフラストラクチャシステムをシステム単位で評価します。

また、ファシリティのインフラストラクチャの電力供給および冷却能力を評価し、現在の電力および冷却の負荷と対比します。

HPEのこのサービスは、ビジネステクノロジーシステムとアプリケーションが、可用性のリスクにいたずらにさらされる危険から守ります。データセンターとそれらを収容するファシリティ内のインフラストラクチャシステムの信頼性が、一般的なコンピューティングシステムが備えているものと同等の信頼度で設計、運用、および保守されていないとしたら、それはまだ問題の半分しか対処していないこととなります。

サービスによるメリット

HPEインフラストラクチャ状況/供給能力分析サービスは、可用性のニーズと、ファシリティのインフラストラクチャがそれらにどのくらい適合しているか、それに関して何ができるのかを理解するのに役立ちます。

また、電力供給および冷却能力を評価することで、今後のファシリティまたはIT化を推進させる計画について参考となる定量的な情報を得ることができます。

分析により以下を特定・判定できます。

- データセンターとIT設備の両方にかかる電力および冷却能力、ならびに従来の電力および冷却の負荷レベル
- ファシリティインフラストラクチャが、設置、仕様、文書化、標識・表示、保守、状態、条件の面で期待する可用性レベルを満たせる状態になっているか

開示: 専門的なエンジニアリングサービスとみなされるサービスは、専門的なライセンスを所有するエンジニアによってのみ提供されます。米国内では、これらのサービスはHPEの完全子会社であるEYP Mission Critical Facilities, Inc.により提供されます。

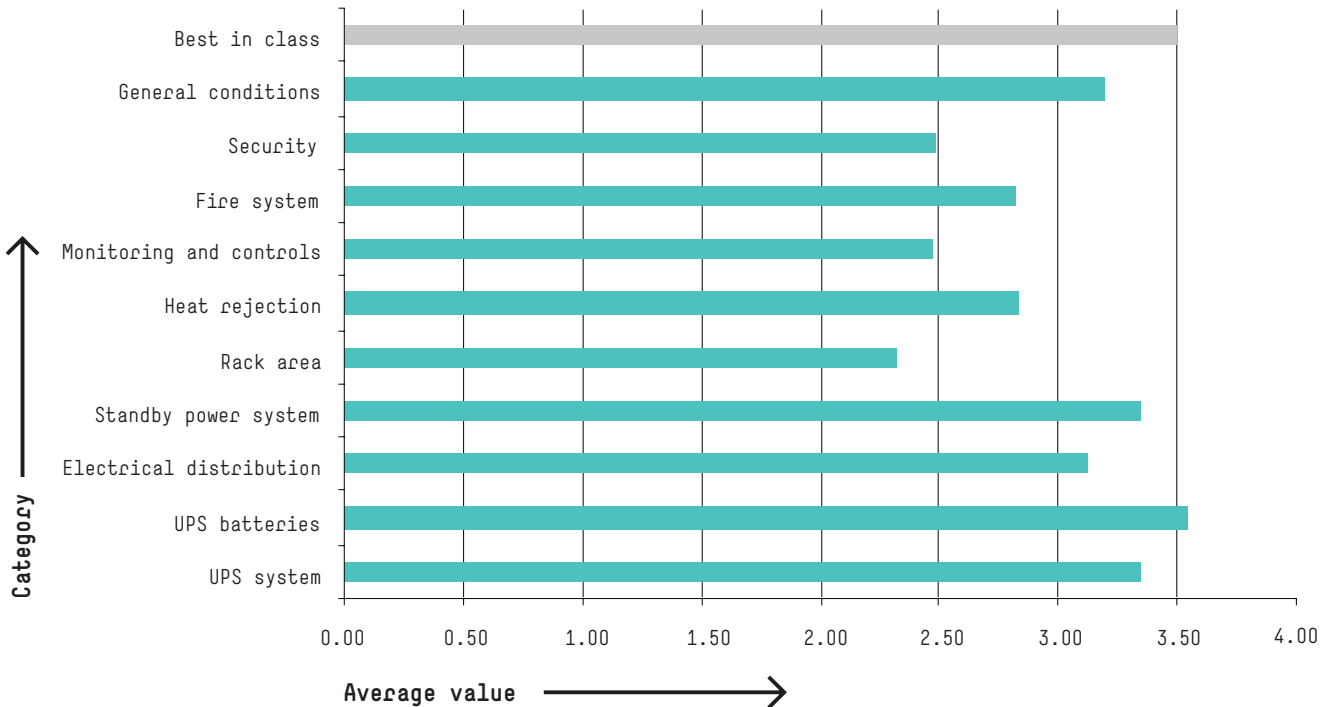
- ビジネス戦略とファシリティにおいて目標とする可用性をいかに対応させるか — 業界のティアレベル基準に基づいて可用性の強弱ポイントを分析します
- 単一点障害および改善のための高度な推奨事項
- 省エネの機会および改善のための高度な推奨事項

このサービスは以下も提供します。

- ファシリティのインフラストラクチャ機器の概要情報 — 構成、トポロジ、種類、供給能力を図示します
- 主要インフラストラクチャシステムの個々の状況、関連文書、運用手順の分析 — クラス最高水準の可用性と目標とする状態を対比します

HPEインフラストラクチャ状態/容量の分析サービスは、次のサービスを提供します。

- ティアレベルを基準とした可用性についてファシリティをベンチマークします
- データセンターファシリティの電力供給と冷却能力を把握して、電流負荷と対比します
- ファシリティ全体の可用性に影響する可能性がある単一点障害を特定します
- ファシリティ内のインフラストラクチャシステムの状態と運用プロセスの堅牢性を把握して、目標とする可用性レベルと対比します
- ファシリティ全体の信頼性を高めるための優先事項を判定します
- 高いレベルの省エネ機会を特定します



詳細情報
hpe.com/jp/pointnext

メールニュース配信登録